

今年の冬は、寒い日が多かったように感じ、春の訪れに心身ともに喜びで満たされるような気がしております。みなさまは、いかがお過ごしでしょうか。

さて、新年が明けてから、プレスクール(就学前)の子どもたちへの日本語指導を、豊明市内の7つの保育園で行いました。加えて、幼稚園児と未就園児は二村会館にて行い、総勢30名の子どもに指導しました。



このプレスクール事業は、今年で9年目となりますが、これまでで最も多い人数です。私たち日本人であっても、初めての子どもの小学校へ入学させるときには、不安や戸惑いがあるかと思いますが、外国人であれば当然です。本人とその保護者が、少しでも安心して学校生活が送れるようにと実施しているもので、年を重ねるごとにその効果を感じていただけているようです。ちなみに、このような支援体制が整っているのは県内でも13自治体(令和3年度調べ)しかありません。日本語理解が十分でない子どもについては、就学前だけでなく、小学校入学後も、初期指導教室で引き続き指導を行います。このような手厚い体制が豊明市だけでなく、全県へと広がることを願います。

また、今年もプラス・エデュケートで学んだすべての中学3年生の進学が無事に決まりました。いよいよ自分の夢の実現に向けての第一歩を踏み出します。彼らの未来が明るいものであることを願ってやみません。そして、4月からは新しい子どもたちを迎え、またにぎやかな教室になることでしょう。2023年度もスタッフ一同力を合わせ、一生懸命活動してまいります。

みなさま、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

認定NPO法人プラス・エデュケート 理事長 森 顕子

2023年
春号

発行者
認定NPO法人
理事長 森 顕子
プラス・エデュケート

プレ エド 通信

過去最多！総勢30名のプレスクール開催！



< 最多園数！最多人数！ > 今年度の豊明市内の保育園で行うプレスクールは、過去最多の保育園数・子どもの人数でした。これからもプレスクールの需要はどんどん高まっていくのではないかと感じます。みんなで楽しく、学校の言葉を覚えたり、ひらがなや数字の読み書きを練習したり、時計の読み方や、簡単な足し算・引き算を学習したりしました。どの子どもも、小学校へ通うことをとても楽しみにしていました。



< 親子でプレスクール > これまで要望があったものの、支援ができていなかった豊明市在住の幼稚園児と未就園児の子どもたちを対象に行いました。保育園で行うプレスクールと違い、会場へ子どもと保護者が来て、保護者も授業に参加できるという、初の試みでした。学校で必要なものや、欠席するときの電話のかけ方、入学後の日本語指導についてなど説明をしました。実際にプレスクールを欠席するときは、連絡を入れてくれるようになり、実戦練習ができました。参加した保護者からは「子どもを参加させてよかった！」「内容がとても役に立っている！」と褒められました。子どもの入学に向けて保護者の不安も解消できたと思います。

4月からの小学校生活が楽しく、充実したものになることを心から願っています。

日本語+放課後歴5年
ブラジル
「ブラエドがなかったら全然勉強できなかったと思う。家族と先生に感謝したい。」

日本語+放課後歴3年
ブラジル
「勉強してわかることが増えてとてもうれしかった！」



OL日本語+OL放課後歴1年
ベトナム
「たくさん言葉を覚えました。本当はもっと勉強したいです。」

日本語+放課後歴2年
ブラジル
「励ましてくれたり、相談に乗ってくれたりした先生方に感謝しています。」

中学校卒業生8名が高校や専門学校に合格し、進路が決まりました。 教師一同、本当にうれしく思います。

愛知県立豊明高校 ・ 愛知県立名古屋工科高校 ・ 名古屋市立若宮商業高校
名古屋市立工業高校 ・ 東海工業専門学校 ・ 名古屋情報専門学校
愛知県立碧南高校定時制 ・ 神奈川県立茅ヶ崎高校定時制



日本語+放課後歴2年
ペルー
「いつもわかりやすく教えてくれてありがとうございました。」

日本語+放課後歴3年
ベトナム
「楽しい先生がいっぱいでした。日本語が難しくてもわかるようになりました。」

OL日本語+OL放課後歴2年
ペルー
「卒業して、教えてくれた先生たちに会えなくなるのはさびしいです。」

放課後歴4年
ブラジル
「先生たちはみんな優しくわかるまで教えてくれました。」

放課後学習支援教室 卒業・進学おめでとう！

小学校卒業生

日本語+放課後歴6年
ベトナム
「中学は心配だけど楽しみ～」



放課後歴1年半
ブラジル
「たくさん友達を作りたい。」



日本語+放課後歴6年
ブラジル
「勉強が大好きです。」 「なんでもやってみたいな！」

日本語+放課後歴5年
ブラジル

日本語+放課後歴1年半
ベトナム
「まだ日本語が上手じゃないけどがんばる！」

日本語+放課後歴6年
ベトナム
「勉強も部活もがんばりたい！」

日本語+放課後歴2年
ブラジル
「とても楽しかったです。」

豊明 初期指導教室(ひまわり教室)

一番印象に残ったクラス！ ついに・・・！



↑ 卒室イエーイ！先生、ありがとう！

3学期末には、学習の集大成として「国際理解講座」を行いました。各学級で自分の国のことについて、発表する機会をいただきました。とても緊張していましたが、頑張って準備し、たくさん練習して臨んだ本番では、みんな堂々と発表することができ、彼らの姿は輝いて見えました。

このようなキラキラした姿を見ると、教師として最後までこの4人と頑張ることができてとても幸せだったなと感じます。いつもひまわり教室での勉強を楽しみにし、元気よく授業に参加してくれて、たくさんおもしろいことを言って笑わせてくれた4人に「ありがとう」と言いたいです！

卒室おめでとう

やんちゃでまとまりがなく、今年度一番大変だったと言っても過言ではない、小学校中学年の男の子たち4名(カンボジア1名・ベトナム3名)が、3月末に卒室しました！

彼らはみんなまったくの日本語ゼロから学習を開始し、来たばかりの時は自分の名前も答えられませんでした。ですが、9月から毎日「ひまわり教室」で学習し、この半年間で本当によく頑張って、成長しました。

成長したのは、日本語だけではなくありません。人としても大きく成長したと思います。ひとりだけ言語が違って、誰とも打ち解けられなかったカンボジアの男の子は、みんなと仲良く遊べるようになり、初対面の人にも日本語で話しかけるほどのコミュニケーション力を身に付けました。毎日取っ組み合いになりそうなくらいの大喧嘩を繰り返し、奇声をあげていたベトナムの男の子たちも、先生の言うことをよく聞けるようになりました。

練習通り
できました→



↑カンボジアの紹介を
します

←原稿を見ないで
発表できました

↑質問、お願いします

碧南 初期指導教室
「にほ教室」開催

今年度は挑戦の年でした。1学期には「にほ教室」(いっぽ教室の次のレベル)を開催しました。新たな試みで、試行錯誤しながら、子どもたちは大きく成長し、効果を実感しました。今年度一番のニュースは、中日新聞の「新聞切り抜き作品コンクール、チャレンジ部門」で7名が奨励賞に選ばれたことです。

今年度の挑戦が成功したのも、奨励賞に多くの子が選ばれたのも、支援者のみなさま、学校の先生方のおかげです。ありがとうございました。



↑新聞切り抜き作品コンクール
奨励賞受賞作品



1学期
↓にほ教室の様子

↑3学期
いっぽ教室の様子

3学期は、新川児童クラブで7名、西端児童クラブで4名を受け入れました。日本語で上手に言えず、ただ感情に任せている子が何人かいました。それに相応しい言葉を丁寧に教えていき、「～さんがぼくの間違えを笑った。」「疲れたから、やりたくない。」などと、言えるようになると、表情が穏やかになり、たとえ「やりたくない」と言っても、最後までやり遂げるようになりました。自分の気持ちを相手に伝えるだけで救われます。今後も、気持ちを伝える表現を教えていきたいです。

半田 初期指導教室
プラエド初！ハイブリッド授業



↑ハイブリッド授業の様子



↑初期指導教室 修了



授業の様子→

今年度の半田市初期指導教室では、新たな試みとして、1学期に対面授業とオンライン授業を同時に行う、ハイブリッド授業を行いました。2つの中学校をオンラインでつなげて行いました。通信環境などの課題はありますが、初期指導教室へ通うことができない子どもにも授業が受けられる可能性が広がったと思います。

また、日常生活の日本語はわかるけど、教科学習がわからないというような子どもも多く受け入れました。初めは自信がなく暗い表情だった子どもたちも、最後には「楽しかった！」と笑顔で締めくくることができました。

学校の先生方やサポートしてくださった方々のおかげです。ありがとうございました。

ボランティアスタッフインタビュー

プラエドには、欠かすことのできないボランティアスタッフが多数います。何年もボランティアスタッフとして活動してくださっている方にその秘訣をインタビューしてみました。

01 近藤靖子さん

日本語学習支援
ボランティア歴：3年4か月



● どうしてプラス・エデュケートでボランティアをしてみようと思われたのですか？

—教育関係のボランティアがしたいと思い、インターネット検索で見つけました。自宅から近くて通いやすかったこともあり、思い切って問い合わせをしました。実は、他のボランティアにも登録していたのですが、実際はあまり呼んでいただくことがなく…。あとは単純に、日本語は母語だし話せるからできるだろうと考えていました(笑)。

● ボランティアを始める前と後で、ギャップはありましたか？

—ありました。まず、参加する子どもたちがここまで日本語が全くわからないんだ！しかもこんなにたくさん居るんだ！！という驚きがとても大きかったです。初めはこんなにも日本語が通じない子どもたちと、どうやってコミュニケーションをとったらいいのだろうという戸惑いがありました。

● 活動していてやりがいを感じるのは、どんなときですか？

—最初は緊張している様子の子もたちも、何回か行くと顔や名前を覚えてくれたり、笑顔が増えたのを感じたりすると、とても嬉しいです。学校内で子どもたちが日本人のお友達と日本語でコミュニケーションをとっているのを見ると、良かったなあと思うとともに、やりがいを感じます。

● 子どもと関わるときに、気をつけていることはありますか？

—できるようになったことはきちんと認めて褒めたい、という気持ちがあるから、それは常に心がけています。

● 「ボランティアをしてみようかな…？」とっている人へメッセージをお願いします！

—様々な国籍の子どもたちと関わることができ、自分の当たり前がそうじゃないと分かって、いつも新鮮です。日本語教育について何も知らずに入った私でも、気づけば3年以上続いています。少しでも興味があるのなら、やってみる価値は絶対にあります！

ボランティアに興味がある方は
こちらから



プラエドNEWS /

保護者インフルエンサー現る！？

OL日本語会話教室のLちゃんのお母さんは、プラエド保護者No.1のインフルエンサーです。昨年9月にLちゃんが教室に参加して以降、4人もの子どもを教室につないでくれました。そして、お母さんがプラエドのFacebookをフォローしてからは、ベトナムにルーツを持つ子どもからの問合せが急増しています。恐るべき影響力です。口コミって凄いですね！

学校でのサポートは1週間に2時間だけ。とても少ないです。

ここで勉強してから、娘は、日本語がとても上手になりました。

プラエドの先生はとても熱心。娘も「勉強楽しい！」と言っています。

困っている友達にこの教室のことを教えてあげたいです！！



寄付してください

今年の2月にある方から情報を得て、フィリピンにルーツを持つ姉妹の日本語支援をしました。彼女たちの小学校には日本語の支援がなく、日本語がわからず、毎日学校へ行くことができていませんでした。

1人でも多くの不登校・不就学の子どもたちに支援をするにはお金が必要です。みなさまのご支援でこのような子どもたちを学校へつなげることができます。みなさまのお力をお貸しください。

プラエドの支援者様

2023年3月現在

坂本ドネイション・ファウンデーション(株)
(財)ホシザキ新星財団・朝日工業(有)・(株)C&C設計
(株)ホームカラクト・(株)豊明交通・社会保険労務士法人絆
(一財)阿部亮財団・Home&nico安井建設(株)
名古屋国際観光バス(株)・(株)ピー・プレイス
(特非)大泉国際教育技術普及センター
個人支援者様193名



税制優遇について詳しくはこちら



認定NPO法人プラス・エデュケート



質の高い教育をみんなに



人や国の不平等をなくそう



平和と公正をすべての人に

〒470-1131

愛知県豊明市二村台3-1-1 豊明団地55棟107号

Email : plus_educate@yahoo.co.jp

HP : <https://www.plus-educate.org/>

プラエド通信編集 : 竹内 真穂